

少年男子堂々の3位

バスケット

(今治市営中央体育館ほか)

▽成年女子3回戦

栃木
大 白鷺 82
15221926
18171220
67 (選抜) 静岡

▽少年男子準決勝

福岡
(選抜) 62
13171418
13161613
58 (選抜) 静岡



バスケットボール少年男子準決勝 静岡―福岡 第1クォーター、静岡の関屋(右)がドライブからゴールを狙う。愛媛・鬼北総合公園体育館

「タレント軍団」 福岡追い詰める

全国屈指のタレント軍団を追い詰めた。バスケットボール少年男子の静岡は準決勝で福岡に47―59の第4クォーター終盤に1点差まで迫った。相手は昨年高校2冠の福岡第一と、今夏の全国総体を制した福岡大大濠の混成チーム。9月の福岡遠征の練習試

合では手応えがあったが、本番は立ち上がりには圧倒され開始3分半で0―15とされた。だが、諦めなかった。突破口を開いたのは福岡出身の関屋(飛龍高)。「地元には負けたくない。周りが消極的だったのでどんどん攻めた」。果敢にドライブを仕掛け流れ

を変えた。第2クォーター中盤に一度は逆転。第3クォーターも互角に渡り合った。

終盤は伊東主将(飛龍高)、

ダシルバ(浜松学院高)の3点シュートなどで猛追した。

ダシルバは「静岡は有力選手が(各高校に)分散している

ので、国体は優勝したかった」と悔しがったが、堂々の3位

だ。4強の京都、宮城、福岡

はいずれも過去2年間に全国大会の決勝に進んだ強豪校の

選手が大半の中、「オール静岡」で存在感を示した。

(山本一真)